

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成26年6月6日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県丹波市柏原町柏原5208-1

氏 名 兵庫県立柏原病院長 秋 田 穂 東
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0795-72-0524

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	兵庫県立柏原病院
事業場の所在地	兵庫県丹波市柏原町柏原5208-1
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	病院
② 事業の規模	303床(稼働病床184床)
③ 従業員数	395人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	病室・処置室・手術室等で発生した廃棄物を専用のプラスチック容器やダンボール箱に詰め、院内の専用集積場所に運搬する。その後、委託業者が委託業者の中間処理施設に運搬し中間処分(焼却)を行い、残渣を最終処分場で埋め立処分する。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
特別管理産業廃棄物管理責任者	診療部長	
特別管理産業廃棄物取扱責任者	検査・放射線部 : 検査技師長・放射線技師長	
	薬剤部 : 薬剤部長	
	外来 : 看護師長	
	手術室・HCU : 看護師長	
	病棟 : 看護師長	
	中央材料室 : 看護師長	
	透析室 : 看護師長	
	リハビリテーション室 : 課長補佐	
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(平成25年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	排出量	127 t
	(これまでに実施した取組) 医療器具や消耗品の使用に際し、血液等の付着をできるだけ少なくし感染性廃棄物の発生を抑制する努力をしている。	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	排出量	143 t
	(今後実施する予定の取組) 平成25年度に比べ、平成26年度は、稼働病床数が増え、患者数の増加が予想される。これに伴い、感染性廃棄物が増加することが予想されるが、次の取組により感染性廃棄物の増加を最小限にとどめる。 (1) 医療器具や消耗品の使用に際し、血液等の付着を出来るだけ少なくし感染性廃棄物の発生を抑制する。 (2) 感染性廃棄物専用のゴミ箱に他のゴミを入れないよう更に徹底し、感染性廃棄物の増加を防止する。	
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生場所に感染性廃棄物専用のゴミ箱と他のゴミ箱の両方を置き分別を行っている。	
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物専用のゴミ箱に他のゴミを入れないよう更に徹底し、感染性廃棄物の増加を防止する。	

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 25 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	全処理委託量	127 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 入札により委託業者を決定している。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	全処理委託量	143 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 入札により委託業者を決定している。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。